材料の化学2

第6回講義

担当 菊池明彦 kikuchia@rs.tus.ac.jp

1

1

第6回 不飽和炭化水素3

アルケンの反応 水素の付加 共役ジエンの求電子付加反応 アルキンの命名とその性質 芳香族炭化水素の共鳴構造モデル 芳香族の軌道モデル

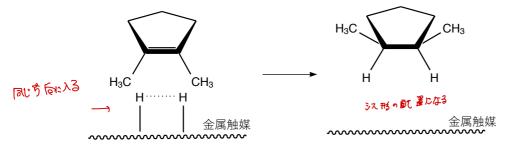
2

アルケンの反応

水素の付加

水素化 (hydrogenation)

cat.: catalyst; Ni, Pd, Ptなど 微粉末状金属 金属微粉末の表面に水素ガスを吸着、水素 - 水素結合の活性化 触媒表面から二重結合の同じ面に水素を付加



接触水素添加

植物油のマーガリン など食用油脂への変 換に応用

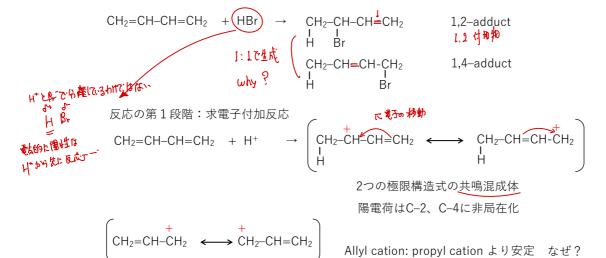
3

3

共役系への付加

共役ジエンへの求電子付加

220 2金紅紅 残る



共役ジエンの付加環化反応: Diels-Alder反応

共役ジエンはアルケン(アルキン)と反応するとき異なる形式の1,4-付加を行う。



5

5

アルケンの酸化

二重結合のπ電子は酸化剤で酸化されやすい



過マンガン酸カリウム(KMnO₄):酸化剤

3 CH₂=CH₂ + 2 KMnO₄ +4 H₂O → 3 CH₂-CH₂ + 2 MnO₂ + 2 KOH OH OH OH ZHンア コーレ

アルカンは反応しない → アルカンとアルケンとを区別する反応

アルカンとアルケンを区別する代表的な反応はこれの反応ともう1種類ある。 最初の方法はどのような方法であったか、思い出してみよう。

6

三重結合

 $R-C\equiv C-R$

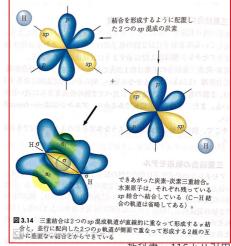
直線状分子

炭素-炭素間距離: 単結合 : 1.54 Å 二重結合 : 1.34 Å

三重結合の軌道モデル: sp混成軌道

6C

2s



教科書p. 116より引用

2つの sp 軌道は炭素原子を中心に互いに逆方向に広がる: 軌道間角180°

2つのp 軌道はsp 軌道に直交するように存在





7

8

7

アルキンの付加反応

アルケンで説明した付加反応の多くはアルキンでも生起:反応速度は遅い

HC
$$\equiv$$
 CH $\xrightarrow{Br_2}$ \xrightarrow{Br} \xrightarrow{Br} $\xrightarrow{Br_2}$ \xrightarrow{Br} \xrightarrow{Br}

Ni, Pt触媒を用いた水素付加: アルキン \rightarrow アルケン

Lindlar触媒(Pd触媒)を用いた水素付加:cis-アルケンの生成 概が配倒的付加力 = (格殊水化):Syntha。cog

$$H_3C$$
 — $C \equiv C$ — CH_3 H_2 — CH_3 H_3C — CH_3 H_3C — CH_3 H_4 — CH_3 — C

非対称アルキンと非対称反応剤との反応例

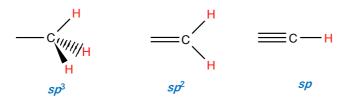
$$H_3C - C = CH$$
 $H_3C - C^+ = CH$ $H_3C - C = CH$

アルキンへの水の付加反応

酸触媒だけでなく、水銀(II)イオンも必要:三重結合と錯形成、付加反応活性を高める

アルキンの酸性度

$$R \longrightarrow C \longrightarrow CH + Na^+NH_2^- \xrightarrow{\text{Liq. NH}_3} R \longrightarrow C \longrightarrow C:^-Na^+ + NH_3$$



25% **s**, 75% **p** 33 1/3% **s**, 66 2/3% **p** 50% **s**, 50% **p**

s 軌道の寄与率の増加 → 酸性度の増加 **酸性&は S/性に係**

10

芳香族化合物

香味料

薬草

芳香性 (aromatic) 物質 比較的単純で共通の構造

$$C_6H_5$$
-CHO

 C_6H_5 -OH

 C_6H_5 -COOH

 C_6H_5 -CH3

 C_6H_5 -COOH

 C_6H_5 -

1825 Michael Faraday; 照明用ガスを圧縮 C₆H₆の単離

C₆H₆: Benzene

ヘキサン(C_6H_{14})、シクロヘキサン(C_6H_{12})に比して不飽和構造を多くもつ

11

11

Benzene (続き)

普通は不飽和化合物に似た反応をしない FeBr₃ ベンド ³技 磁

`

沙加

置換

 $C_6H_6 \ + Br_2 \ \rightarrow \ C_6H_5Br \ + HBr$

ベンゼンの6個の水素は化学的に等価(どの水素も反応に与る確率は等しい)

ベンゼンのKekulé構造式

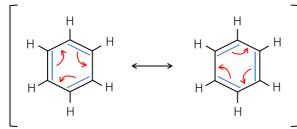
1865年 Kekulé

6つの炭素が正六角形の頂点に それぞれ1つの水素をもつ 単結合と二重結合が交互に形成(共役二重結合系) 不飽和結合の検出反応に陰性 → 単結合と二重結合が迅速に入れ代わるため

12

notine poset

ベンゼンの共鳴構造モデル



ベンゼンは左記の極限構造式の共鳴混成体

単結合も二重結合も存在しない 中間の性質を持つ=C-C間結合は1種類のみ

ベンゼン分子:平面構造 正六角形

すべてのC-C間距離: Å

ベンゼンの軌道モデル

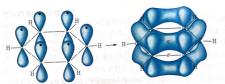


図4.2 ペンゼンにおける結合のようすを軌道の形状を用いて描いたものである。 σ結合は50^{*}軌道が先端を重ね合わせることで重なってつくられている。それぞれの炭素は、p電子を1つ供出して隣接炭素のp軌道と側面を重ねるでとしては75×電子変を形成上でする。

教科書p. 132より引用

すべての炭素は sp^2 混成軌道:2つの炭素、1つの水素と結合 環全体が平面構造、正六角形 すべての炭素上の3つ sp^2 混成軌道が作る平面に垂直にp軌道 6 つのp軌道は互いに隣接するp軌道と重なり分子全体で π 結合の電子雲形成





13

13

第6回講義 まとめ

水素の付加 共役ジエンの求電子付加反応 アルキンの命名とその性質 芳香族炭化水素の共鳴構造モデル 軌道モデル

第6回講義を終了します。

LETUSに掲載した第6回講義課題をダウンロードし、解答後、PDFに変換したファイル(ファイル名は学籍番号氏名)を指定期日までにアップロードしてください。